

令和7年度(2025)
土木学会中国支部
総会資料



日時：令和7年5月21日(水) 15:00~16:50

場所：メルパルク広島(広島市中区基町6番36号)

公益社団法人 土木学会中国支部

令和7年度(2025)土木学会中国支部総会資料 目次

1. 議 題

報告事項

- ① 令和6年度(2024)事業報告 1
 - ② 令和6年度(2024)決算報告及び監査報告 10
 - ③ 令和6年度(2024)支部規程類の制定・改訂報告 17
 - ・土木学会中国支部職員就業規則 改訂
 - ・土木学会中国支部職員給与細則 改訂
 - ・土木学会中国支部職員勤務評価要領細則 制定
 - ・謝金等の取扱いに関する内規 改訂
 - ・選奨土木遺産委員会内規 改訂
 - ④ 令和7年度(2025)支部役員 26
 - ⑤ 令和7年度(2025)事業計画 31
 - ⑥ 令和7年度(2025)予算 33
2. 令和6年度土木学会中国支部賞 表彰式 (別紙)
3. 令和6年度土木学会中国支部賞受賞講演 (別紙)

参考資料

- 1. 支部会員 34

① 令和6年度（2024）事業報告

1. 支部総会

- ・ 令和6年度（2024）土木学会中国支部通常総会（2024. 5. 22）

開催場所：メルパルク広島

参加者：57名

2. 商議員会

- ・ 第1回商議員会（2024. 12. 3～12. 6）

開催場所：書面会議（メール審議）

- ・ 第2回商議員会（2025. 2. 21）

開催場所：オンラインweb会議

3. 幹事会

- ・ 第1回幹事会（2024. 6. 20）

開催場所：オンラインweb会議

- ・ 第2回幹事会（2024. 11. 26～11. 29）

開催場所：書面会議

- ・ 第3回幹事会（2025. 1. 20）

開催場所：オンラインweb会議

- ・ 第4回幹事会（2025. 3. 19）

開催場所：オンラインweb会議

4. 四学会災害協定連絡協議会（2024. 7. 17）

- ・ 開催形態：オンラインweb会議

5. 支部賞表彰委員会

- ・ 第1回支部賞表彰委員会（2024. 9. 19）

開催場所：書面会議

- ・ 選考委員会（2025. 1. 28）

開催場所：オンラインweb会議

- ・ 第2回支部賞表彰委員会（2025. 3. 14）

開催場所：書面会議

6. 役員選出委員会

- ・ 支部役員選出委員会（2025. 1. 17）

開催場所：オンラインweb会議

7. 選奨土木遺産選考委員会

- ・現地調査（2024. 7. 16）

開催場所：志谷川橋梁、日向川橋梁（島根県川本町）

- ・選奨土木遺産認定式（2024. 11. 9）

開催場所：JR石見川本駅（島根県邑智郡川本町大字川本509-2）

〔令和6年度土木学会選奨土木遺産中国支部推薦物件〕

『目の字形ラーメン橋－志谷川橋梁、日向川橋梁』

所在地：島根県邑智郡川本町

理由：志谷川橋梁、日向川橋梁は、三江線でのみ採用された極めて珍しい目の字形鉄筋コンクリートラーメン橋である。

竣工年：1934年（昭和9年）（開通年）

管理者	西日本旅客鉄道株式会社
形式	鉄筋コンクリートラーメン橋（3層）
諸元	長さ 16.80m, スパン 6.00m, 高さ 14.70m（志谷川橋梁）、 長さ 22.70m, スパン 6.00m, 高さ 13.65m（日向川橋梁）
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・大正 15（1926）年：石見江津（現・江津）から着工 ・昭和 9（1934）年 11 月 8 日：志谷川橋梁、日向川橋梁を含む区間の開通 ・平成 30（2018）年：三江線廃止
評価・特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で唯一、三江線で採用された、目の字形をした 3 層の鉄筋コンクリートラーメン橋。 ・設計は、鉄道省米子建設事務所の技師・齋藤鼎、技手・櫻井亭。「鐵道建設現場に應用したラーメン橋の一例」（土木工学, 第 2 卷, 第 3 号, pp.28-35, 1933 年）で詳細を伝える。 ・標準設計により簡易に設計できるようになったが、現場条件を考慮すると必ずしも標準設計を採用するのが最適とは限らないとして、「開渠」「函渠」「ラーメン橋」を比較検討し、経済性、施工の安全性から、3 層の鉄筋コンクリートラーメン橋を採用した。 ・3 層のラーメン構造の採用には、江の川のバックウォーターも考慮した。 ・目の字形にすることで道路を通すことができるメリットもあった（写真 1）。 ・平成 30（2018）年の三江線廃止以降も J R 西日本が管理し、毎年 1 回目視による確認と 5 年に 1 度の点検を実施。（現役時は 2 年に 1 度の点検） ・令和 5（2023）年 11 月 3 日に、島根県技術士会鉄道遺構研究分科会が実施した反発硬度試験では、2 橋とも平均反発度 $R=54$ で、推定で 30N/mm^2 あり、設計当時に期待していた $12\sim 16\text{N/mm}^2$ に比べかなり良好な状態を保っている。 ・旧・石見川本駅ではレールバイクの運行が行われており、活用の一環に取り入れることが可能。令和 6 年 11 月には石見川本駅開業 90 周年のイベントを開催予定。



写真1 志谷川橋梁



写真2 日向川橋梁

8. 支部行事

〔主催行事〕

A) 支部研究発表会

開催場所：広島工業大学 五日市キャンパス（広島市）

○研究発表会（2024. 6. 8）

発表件数：第Ⅰ部門：23件・第Ⅱ部門：42件・第Ⅲ部門：34件・
第Ⅳ部門：28件・第Ⅴ部門：32件・第Ⅵ部門：28件・
第Ⅶ部門：10件 合計件数：197件 聴講参加者延べ：692名

○企業展示（2024. 6. 8） 企業ブース：7社：参加者：71名

B) 講演会・報告会・シンポジウム・セミナー他

〔主催行事〕

- ・「特別講演会」（2024. 5. 22：支部総会）

開催場所：メルパルク広島

令和5年度土木学会中国支部賞受賞講演

受賞業績①：奥津発電所改修工事

発表者：中国電力株式会社東部水力センター 小畑 大作 氏

受賞業績②：柳井原貯水池河道化に伴う環境対策

発表者：国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策事務所

（前事務所長） 濱田 靖彦 氏

参加者：75名

- ・「中国地方整備局長と話してみよう！」（2024. 9. 13）
開催場所：国土交通省中国地方整備局 参加者：11名
- ・「工事報告会」（地盤工学会担当：広島エリア）
開催場所：オンライン 参加者：80名

〔共催行事〕

- ・「中国地方建設技術開発交流会」（2024. 10. 23～2024. 11. 20）
主催：中国地方建設技術開発交流会実行委員会
開催場所：中国各県 5回：オンライン 参加者：1082名
- ・「高梁川流域治水シンポジウム」（2024. 10. 20）
主催：国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所
開催場所：倉敷市民会館 2階大会議室兼展示室 参加者：200名
- ・「令和6年度インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック会議」（2024. 10. 28）
主催：インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック
開催場所：鳥取県立生涯学習センター 参加者：156名

〔後援行事〕

- ・「道路橋の長寿命化対策に関わる技術講習会」（2024. 9. 12）
主催：一般社団法人 日本建設保全協会
開催場所：広島市南区民文化センター ホール 参加者：88名
- ・「スマート社会産官学民協働まちづくりフォーラム」（2024. 10. 18～19）
主催：全国Town & Gown 構想推進協議会
開催場所：広島大学東広島キャンパス他 参加者：のべ約200名
- ・「わかりやすいコンクリート」講習会（2024. 12. 10）
主催：日本コンクリート工学会中国支部
開催場所：鳥取市民交流センター多目的室1 参加者：53名
- ・「セメント系固化材セミナー」（2024. 12. 11）
主催：一般社団法人セメント協会
開催場所：JA広島ビル 10階 大会議室 参加者：110名
- ・「災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座」（2024. 12. 25）
主催：京都大学大学院工学研究会社会基盤工学専攻
災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座
開催場所：岡山コンベンションセンター・オンライン 参加者：285名
- ・「リペア会定例会」
主催：リペア会 定例会
開催場所：TKPガーデンシティPREMIUM 広島駅前（ホール2A）
参加者：64名

〔「土木の日」および「くらしと土木の週間」関連行事：主催行事〕

- ・「夏休み親子見学会」（2024. 7. 20）

開催場所：広島呉道路（クリアライン）呉トンネル建設現場・呉ポートピアパーク

参加者：46名

- ・どぼくカフェ 「大きな機械が活躍するドボクの世界！」（2024. 7. 27）

講師：京都大学教授 高橋 良和 氏

開催場所：岩美町中央公民館（鳥取県岩美町）

参加者：45名

- ・土木ツアー ～夏休みだ！探検だ！工事現場の中を見てみよう!!～（2024. 7. 27）

開催場所：田後高架橋工事現場（鳥取県岩美町田後）

参加者：45名

- ・「夏休み土木実験教室」（2024. 8. 9）

開催場所：東広島芸術文化ホールくらら工作室

参加者：40名

- ・第17回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」応募（～2024. 9. 18）

応募範囲（広島県・山口県・鳥取県・岡山県・島根県

応募者：908名

- ・令和6年度選奨土木遺産認定式－志谷川橋梁、日向川橋梁（2024. 11. 9）

開催場所：JR石見川本駅

参加者：約50名

- ・「身近な土木を描いてみよう！図画コンクールの効果について（2024. 9. 4）

開催場所：東北大学

参加者：約60名

- ・第17回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」表彰式・展示 - 鳥取（2024. 11. 16）

開催場所：鳥取市民交流センター多目的室

参加者：50名

- ・第17回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」展示 - 島根（2024. 11. 30）

開催場所：松江市民活動センター交流広場

参加者：50名

- ・第17回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」展示（2024. 12. 2～12. 9）

開催場所：広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市）

参加者：約400名

- ・第17回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」表彰式（2024. 12. 8）

開催場所：広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市）

参加者：50名

- ・第17回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」表彰式・展示 - 岡山（2024. 12. 14）

開催場所：JR岡山エキチカ広場

参加者：60名

- ・第17回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」展示（2025. 1. 16～2. 13）

開催場所：土木学会本部（東京都新宿区四谷）

参加者：1,250名

- ・第17回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」展示（2025. 2. 25～3. 11）

開催場所：中国電力(株)柳井発電所（柳井市）

参加者：60名

〔「土木の日」および「くらしと土木の週間」関連行事：共催行事〕

- ・建設技術フォーラム2024 in ちゅうごく（2024. 10. 30～10. 31）

開催場所：広島産業会館西展示館・オンライン

参加者：約4,200名

9. 研究奨励

①調査研究活動助成 (B)

研究助成先	テーマ
岡山大学学術研究院環境生命自然科学 学域准教授 樋口 輝久	今福線、三江線の鉄道遺構の保存活用をめざ した実態調査及び維持管理の実施

10. 表彰

① 令和6年度土木学会中国支部賞：

<p>受賞業績名：i-Constructin2.0実践のためのICT技術を適用した浚渫土砂処分場施工管理技術</p> <p>受賞者：天野産業株式会社（中国支部賛助会員）</p> <p>区分：中国地方の地域課題の解決に向け取り組んだ業務，あるいは技術の普及に貢献した業務</p> <p>選考理由：地域のインフラを支え，防災・減災に貢献している地元の建設会社は，担い手不足の課題に直面しており，存続を図るためにはDX技術の導入による働き方改革を積極的に推進していく必要がある，本件は中国地方のCランクのゼネコンでも，最先端のICT技術を導入することにより，労力やコストを大幅に削減させる工事が実現できることをアピールしたものであり，支部賞を授与することで，地元建設業の励みに通じる模範となり得る案件だと考える。</p>
<p>受賞業績名：島根原子力発電所津波防波壁設置工事</p> <p>受賞者：中国電力株式会社（法人正会員）</p> <p>区分：中国地方に建設された優れた土木施設あるいは構造物の工事</p> <p>選考理由：本件は，技術的な検討を重ねることで13年におよぶ津波防波壁の設置工事を完成させた記録である。東日本震災の教訓に基づき，実験や解析結果を考察することによって先進的な構造物とすることで，発電事業と安全性を担保させた社会的インパクトは大きく，次世代に引き継いで記憶に残すべく優れた土木構造物と言えるので，支部賞に相応しいと評価できる。</p>
<p>受賞業績名：広島港クルーズターミナル整備事業</p> <p>受賞者：広島県 広島港湾振興事務所（特別会員）</p> <p>区分：土木技術による中国地方の発展に寄与する著しい業績</p> <p>選考理由：本件は広島港宇品地区の岸壁の改良工事を含めたクルーズターミナル等周辺整備を実施するものであり，国際的な観光都市である広島の発展に寄与する業績であると共に，技術的な観点を考慮してもDX技術の積極的な活用や技術の伝承あるいは周辺環境整備への配慮といった幾つもの優れた実績を残したものと見え，支部賞に相応しいと評価できる。</p>

② 第76回（令和6年度）土木学会中国支部研究発表会若手優秀発表者賞：39名（敬称略）

部門	発表セッション		所属	名前
I	I-①	構造工学	徳山高専	齊藤 遥奈
	I-②	維持管理・計測	山口大学	田中 大暉
	I-③	構造物周りの流れ・モデリング	(株)ウエスコ	岡田 拓也
II	II-①	氾濫流の水理	山口大学	滝山 路人
	II-②	流体力・開水路	岡山大学	水川 達哉
			鳥取大学	本田 未依奈
	II-③	沿岸域の水理・環境	広島大学	佐藤 駿介
	II-④	水質・底質	山口大学	大中 臨
			広島大学	小嶋 郁也
II-⑤	流砂①	中電技術コンサルタント(株)	野路 佑人	
II-⑥	流砂②・水文・気象	山口大学	弘中 勇駿	
III	III-①	斜面(1)	広島大学	正木 宏幸
			山口大学	松林 勇磨
	III-②	強度特性(1)・斜面(2)	山口大学	武田 龍征
	III-③	強度特性(2)・浸透	山口大学	余田 美月
			山口大学	有地 宏徳
	III-④	地盤改良(1)・補強土	山口大学	中村 圭吾
山口大学			郷司 航平	
III-⑤	地盤改良(2)・エネルギー	山口大学	元生 優作	
IV	IV-①	交通計画(1)	鳥取大学	山道 賢
			広島大学	靄園 真大
	IV-②	交通計画(2)	呉高専	山本 耀司
			広島市	栗林 莉彩
	IV-③	地域計画	広島大学	梶山 大輔
IV-④	防災計画	呉高専	渡邊 花梨	
		鳥取大学	伊勢 祐志	
V	V-①	基礎物性	呉高専	大瀬戸 くるみ
	V-②	耐久性	松江高専	桑原 慎太郎
			広島大学	伊藤 杏実
	V-③	副産物利用	松江高専	河野 菜
V-④	コンクリート構造・補修・補強	鳥取大学	小谷野 愛子	
VI	VI-①	調査・診断技術	岡山大学	上野 真衣
			岡山大学	伊藤 千夏
	VI-②	BIM/CIM,DX,AI	松江高専	野津 秀太
	VI-③	施工技術	中国地方整備局	木村 祐介
VI-④	トンネル、その他	山口大学	丸山 裕太郎	
		呉高専	森田 和也	
VII	VII-①	環境保全・管理①	鳥取大学	佐藤 達明
	VII-②	環境保全・管理②	山口大学	松尾 はな

③ 令和6年度土木学会中国支部優秀学生表彰:

30校31学科31名

	学校名	受賞者
1	岡山大学工学部工学科都市環境創成コース	橋本 悠太郎
2	鳥取大学工学部社会システム土木系学科土木工学プログラム	新見 由鈴子
3	鳥取大学工学部社会システム土木系学科社会経営工学プログラム	伊藤 優希
4	広島大学工学部第四類(建設・環境系)社会基盤環境工学プログラム	上田 脩真
5	山口大学工学部社会建設工学科	TU JIALU
6	広島工業大学工学部環境土木工学科	岸本 俊介
7	呉工業高等専門学校環境都市工学科	伊藤 ゆうき
8	徳山工業高等専門学校土木建築工学科	中村 藍子
9	松江工業高等専門学校環境・建設工学科	川上 真子
10	岡山県立岡山工業高等学校土木科	藤原 悠
11	岡山県立笠岡工業高等学校環境土木科	増成 大夢
12	岡山県立津山工業高等学校土木科	畑 逞斗
13	岡山県立新見高等学校工業技術科	真壁 侑希
14	岡山県立高松農業高等学校農業土木科	森本 將太
15	鳥取県立倉吉農業高等学校環境科	福田 拓海
16	鳥取県立鳥取工業高等学校建設工学科	森川 晴名
17	鳥取県立米子工業高等学校建設科	小谷 麟
18	島根県立松江工業高等学校建築都市工学科	枝木 優斗
19	島根県立出雲農林高等学校環境科学科	石飛 敦成
20	島根県立益田翔陽高等学校生物環境工学科	藤井 夢奈
21	島根県立松江農林高等学校環境土木科	福島 健心
22	広島県立府中東高等学校都市システム科	山崎 敬司
23	広島県立広島工業高等学校土木科	石井 哉臣
24	広島県立西条農業高等学校緑地土木科	後藤 敬陽
25	広島県立庄原実業高等学校環境工学科	佐倉 貫太
26	山口県立徳山商工高等学校環境システム科	石井 玲
27	山口県立萩商工高等学校機械・土木科(土木コース)	河村 侑真
28	山口県立岩国工業高等学校都市工学科	桑村 凧音
29	山口県立山口農業高等学校環境科学科	杉山 柊哉
30	山口県立田布施農工高等学校都市緑地科	河村 春空
31	山口県立下関工科高等学校建設工学科土木コース	稲垣 萌樹

- ④ 第17回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール：優秀賞：13名・佳作51名
 <優秀賞> (敬称略)

学校名	学年	氏名	作品名
東広島市立高屋西小学校	1年	上岡 千真	あつさにまけるなショベルカー
東広島市立高屋西小学校	1年	戸光 聖愛	木や石を運ぶよ！
福山暁の星小学校	2年	片山 みつき	魚のすむさぼうだむ
福山暁の星小学校	2年	小塚 悠史	トンネル工じを見て来たよ
鳥取市立湖山小学校	3年	河野 志歩	ダムカードもらったよ
広島市立福木小学校	3年	鐵口 晴翔	がんばれシャベルカー
広島市立中筋小学校	4年	山口 綾子	行ってきました！神龍橋(元紅葉橋)
広島市立中筋小学校	5年	亀井 結太	三川橋と古川
広島市立福木小学校	5年	波間 奏美	砂防えん堤工事
鳥取市立末恒小学校	6年	大黒 昆汰	石をくださいよ パワー全開
岡山市立操山中学校	1年	西依 愛心	家の近くにある水門
岩国市立岩国中学校	2年	松富 紬	雨上がりの美しい港に虹が出た
広島大学附属三原中学校	3年	柏原 瑞希	千光寺ロープウェイ

※佳作入賞者は割愛

11. 広報企画活動

- ① ホームページの更新
- ② facebookによる行事案内・行事報告
- ③ ニュースレターの発行
 - ・ Vol. 38 (2024. 6. 8発行)
 - ・ Vol. 39 (2025. 2. 21発行)
- ④ 賛助会員へのサービス向上企画
 - ・ 「技術相談室」案内
 - ・ 賛助会員1口につき5枚のテキスト無料券を配布
 - ・ 令和6年度(2024)支部研究発表会概要集配布
 - ・ 学会図書の正会員価格での購入
 - ・ 第17回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール2025年カレンダー配布
 - ・ 行事案内などの送付

② 令和6年度(2024)決算報告及び監査報告

貸借対照表

2025年 3月31日現在

公益社団法人 土木学会 (統合領域) 中国支部

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,313,943	18,610,664	1,703,279
仮払金	2,514	0	2,514
流動資産合計	20,316,457	18,610,664	1,705,793
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	2,597,818	2,497,818	100,000
什器備品減価償却引当預金	417,909	411,928	5,981
記念事業積立預金	5,201,593	5,201,593	0
全国大会積立預金	6,746,936	6,746,936	0
地域貢献資金	22,556,978	22,873,612	△ 316,634
特定資産合計	37,521,234	37,731,887	△ 210,653
(3) その他固定資産			
什器備品	699,032	411,932	287,100
敷金	510,000	510,000	0
什器備品減価償却累計額	△ 417,910	△ 411,929	△ 5,981
その他固定資産合計	791,122	510,003	281,119
固定資産合計	38,312,356	38,241,890	70,466
資産合計	58,628,813	56,852,554	1,776,259
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	36,632	68,324	△ 31,692
未払金	36,632	68,324	△ 31,692
預り金	103,544	45,363	58,181
仮受金	0	6,111	△ 6,111
前受金	4,000	8,000	△ 4,000
前受金	4,000	8,000	△ 4,000
賞与引当金	262,250	246,750	15,500
流動負債合計	406,426	374,548	31,878
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,597,818	2,497,818	100,000
固定負債合計	2,597,818	2,497,818	100,000
負債合計	3,004,244	2,872,366	131,878
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	△ 316,634	0	△ 316,634
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	55,624,569	53,980,188	1,644,381
一般正味財産合計	55,624,569	53,980,188	1,644,381
(うち特定資産への充当額)	△ 1,269,008	△ 1,274,989	5,981
正味財産合計	55,624,569	53,980,188	1,644,381
負債及び正味財産合計	58,628,813	56,852,554	1,776,259

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

公益社団法人 土木学会（統合領域）中国支部

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,515	436	2,079
受取会費	1,320,000	1,320,000	0
事業収益	1,192,381	9,460,000	△ 8,267,619
行事収益	992,381	9,260,000	△ 8,267,619
支部行事収益	992,381	9,260,000	△ 8,267,619
広告収益	200,000	200,000	0
受取補助金	0	300,000	△ 300,000
受取負担金	495,000	520,400	△ 25,400
雑収益	21,000	21,324	△ 324
雑収益	21,000	21,324	△ 324
経常収益計	3,030,896	11,622,160	△ 8,591,264
(2) 経常費用			
事業費	6,992,845	38,436,930	△ 31,444,085
職員給与	2,655,156	2,494,591	160,565
法定福利費	447,478	425,488	21,990
福利厚生費	3,100	3,100	0
退職掛金	52,020	36,000	16,020
退職給付費	50,000	718,909	△ 668,909
水道光熱費	66,134	67,960	△ 1,826
施設維持費	3,434	3,434	0
臨時雇人給	430,027	4,057,125	△ 3,627,098
旅費交通費	592,230	897,918	△ 305,688
備品消耗品費	543,075	1,670,889	△ 1,127,814
発送・通信費	305,112	357,364	△ 52,252
手数料	19,045	290,952	△ 271,907
賃借料	812,824	1,449,294	△ 636,470
会議費	409,233	6,106,124	△ 5,696,891
広報宣伝費	84,484	1,621,861	△ 1,537,377
報告書等製作費	52,800	319,110	△ 266,310
謝金・賞金	129,238	1,123,039	△ 993,801
システム等使用料	0	74,120	△ 74,120
支払会費	0	10,000	△ 10,000
委託業務費	147,284	13,780,298	△ 13,633,014
事業諸経費	30,000	0	30,000
事務OA化費	25,410	24,717	693
減価償却費	2,991	25,551	△ 22,560
図書等仕入費	0	2,744,700	△ 2,744,700
学会図書仕入費	0	2,744,700	△ 2,744,700
租税公課	0	10,500	△ 10,500
雑費	645	511	134
賞与引当金繰入	131,125	123,375	7,750
管理費	4,299,022	4,816,928	△ 517,906
経常費用計	11,291,867	43,253,858	△ 31,961,991
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,260,971	△ 31,631,698	23,370,727
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,260,971	△ 31,631,698	23,370,727

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計から繰入	10,024,212	34,441,094	△ 24,416,882
本部から繰入	8,965,352	34,293,056	△ 25,327,704
他会計から繰入	1,058,860	148,038	910,822
他会計への繰出	118,860	148,038	△ 29,178
他会計への繰出	118,860	148,038	△ 29,178
当期一般正味財産増減額	1,644,381	2,661,358	△ 1,016,977
一般正味財産期首残高	53,980,188	51,318,830	2,661,358
一般正味財産期末残高	55,624,569	53,980,188	1,644,381
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
Ⅳ 正味財産期末残高	55,624,569	53,980,188	1,644,381

正味財産増減計算書内訳表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

公益社団法人 土木学会 (統合領域)

(単位:円)

科 目	法人会計		公益目的事業会計										
	法人会計(中国)	中国	公益事業共通(中国)	調査研究事業(中国)	学術講演会等事業(中国)	講習会等行事業(中国)	全国大会事業(中国)	教育支援等事業(中国)	表彰事業(中国)	研究等助成事業(中国)	広報啓発事業(中国)	土木の日事業(中国)	周年記念事業(中国)
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
特定資産運用益	0	2,515	0	0	0	0	0	0	2,411	0	0	0	104
受取会費	0	1,320,000	1,320,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	1,192,381	0	0	1,161,000	0	0	0	0	0	0	31,381	0
支部行事収益	0	992,381	0	0	961,000	0	0	0	0	0	0	31,381	0
広告収益	0	200,000	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	495,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	495,000	0
雑収益	21,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	21,000	3,009,896	1,320,000	0	1,161,000	0	0	0	2,411	0	0	526,381	104
(2) 経常費用													
事業費	0	6,992,845	0	0	848,732	3,869,138	0	0	142,505	199,885	223,505	1,709,080	0
職員給与	0	2,655,156	0	0	0	2,389,642	0	0	0	0	0	265,514	0
法定福利費	0	447,478	0	0	0	402,732	0	0	0	0	0	44,746	0
福利厚生費	0	3,100	0	0	0	2,790	0	0	0	0	0	310	0
退職掛金	0	52,020	0	0	0	46,818	0	0	0	0	0	5,202	0
退職給付費	0	50,000	0	0	0	45,000	0	0	0	0	0	5,000	0
水道光熱費	0	66,134	0	0	0	59,521	0	0	0	0	0	6,613	0
施設維持費	0	3,434	0	0	0	3,091	0	0	0	0	0	343	0
臨時雇人給	0	430,027	0	0	130,950	269,170	0	0	0	0	0	29,907	0
旅費交通費	0	592,230	0	0	7,090	16,502	0	0	23,480	199,225	183,740	162,193	0
備品消耗品費	0	543,075	0	0	55,830	6,210	0	0	6,568	0	0	474,467	0
発送・通信費	0	305,112	0	0	11,626	87,193	0	0	28,131	0	0	178,162	0
手数料	0	19,045	0	0	3,105	10,782	0	0	330	660	165	4,003	0
賃借料	0	812,824	0	0	298,950	339,728	0	0	0	0	0	174,146	0
会議費	0	409,233	0	0	242,181	45,804	0	0	0	0	0	121,248	0
広報宣伝費	0	84,484	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84,484	0
報告書等製作費	0	52,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,800	0
謝金・賞金	0	129,238	0	0	0	0	0	0	83,996	0	0	45,242	0
委託業務費	0	147,284	0	0	99,000	0	0	0	0	0	39,600	8,684	0
事業諸経費	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0
事務〇A化費	0	25,410	0	0	0	22,869	0	0	0	0	0	2,541	0
減価償却費	0	2,991	0	0	0	2,692	0	0	0	0	0	299	0
雑費	0	645	0	0	0	581	0	0	0	0	0	64	0
賞与引当金繰入	0	131,125	0	0	0	118,013	0	0	0	0	0	13,112	0
管理費	4,299,022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	4,299,022	6,992,845	0	0	848,732	3,869,138	0	0	142,505	199,885	223,505	1,709,080	0
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,278,022	△ 3,982,949	1,320,000	0	312,268	△ 3,869,138	0	0	△ 142,505	△ 197,474	△ 223,505	△ 1,182,699	104
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,278,022	△ 3,982,949	1,320,000	0	312,268	△ 3,869,138	0	0	△ 142,505	△ 197,474	△ 223,505	△ 1,182,699	104
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計から繰入	8,215,352	1,808,860	0	0	0	0	0	0	118,860	0	340,000	1,350,000	0
本部から繰入	8,215,352	750,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	750,000	0
他会計から繰入	0	1,058,860	0	0	0	0	0	0	118,860	0	340,000	600,000	0
他会計への繰出	0	118,860	0	0	0	0	0	0	0	118,860	0	0	0
他会計への繰出	0	118,860	0	0	0	0	0	0	0	118,860	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,937,330	△ 2,292,949	1,320,000	0	312,268	△ 3,869,138	0	0	△ 23,645	△ 316,334	116,495	167,301	104
一般正味財産期首残高	17,943,398	36,036,790	12,100,256	△ 106,190	2,034,811	△ 10,307,247	6,578,480	16,390	△ 1,317,395	21,106,485	1,226,141	203,044	4,502,015
一般正味財産期末残高	21,880,728	33,743,841	13,420,256	△ 106,190	2,347,079	△ 14,176,385	6,578,480	16,390	△ 1,341,040	20,790,151	1,342,636	370,345	4,502,119
II 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部													
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	21,880,728	33,743,841	13,420,256	△ 106,190	2,347,079	△ 14,176,385	6,578,480	16,390	△ 1,341,040	20,790,151	1,342,636	370,345	4,502,119

2024年度 収支計算書 集計表
(中国支部)

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

単位:円、太字は実績、斜字は予算、%は実績/予算

区分	収支科目	合計	公益目的事業																	公益目的事業 共通	公益目的事業 合計	法人会計	内部取引消去							
			公1:調査研究事業				公2:講演会等事業				公3:表彰・助成事業				公5:広報・啓発事業															
			調査研究事業	公益受託事業	社会支援事業	小計	学術講演会等事業	講習会等行事事業	教育支援等事業	全国大会事業	周年記念事業	小計	表彰事業	研究等助成事業	小計	広報啓発事業	土木の日常事業	小計												
事業活動 収支の部	1. 特定資産運用収入	2,515	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2. 会費収入	1,320,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	3. 事業収入	1,192,381	0	0	0	0	1,161,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,381	31,381	0	0	0	0		
	4. 補助金・負担金・寄付金収入	495,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	495,000	495,000	0	0	0	0		
	5. 雑収入	21,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	6. 繰入金収入	9,905,352	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	事業活動収入計 (A)	12,936,248	0	0	0	0	1,161,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	340,000	1,350,000	1,690,000	0	1,808,860	8,215,352	△ 118,860	
	1. 事業費	6,808,729	0	0	0	0	848,732	3,703,433	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	223,505	1,690,669	1,914,174	0	6,808,729	0		
	うち事業管理費	4,114,914	0	0	0	0	0	3,703,433	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	411,481	411,481	0	4,114,914	0		
	2. 管理費	4,361,657	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,361,657	0	
	3. 繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	11,170,386	0	0	0	0	848,732	3,703,433	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,320,000	1,876,381	2,216,381	0	1,320,000	4,818,756	8,236,352	△ 118,860	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	1,765,862	0	0	0	0	312,268	△ 3,703,433	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116,495	185,712	302,207	0	△ 2,108,833	3,874,695	0		
投資活動 収支の部	1. 固定資産売却・敷金戻り収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2. 特定預金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	引当預金取崩 (退職給付、減価償却)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	積立預金取崩 (記念事業、全国大会、 支部運営、地域貢献)	318,745	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	318,745	0		
	投資活動収入計 (D)	318,745	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	318,745	0		
	1. 固定資産取得支出	287,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	287,100		
	2. 特定預金支出	105,981	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105,981		
引当預金支出 (退職給付、減価償却)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
積立預金支出 (記念事業、全国大会、 支部運営、地域貢献)	2,111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,111			
投資活動支出計 (E)	395,192	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	395,192			
投資活動収支差額 (F)=(C)-(D)	△ 76,447	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 316,634	△ 393,081	0		
当期収支 合計及び 次期繰越 収支差額	当期収入合計 (H)=(A)+(D)	13,254,993	0	0	0	0	1,161,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	340,000	1,876,381	2,216,381	0	5,137,501	8,236,352	△ 118,860	
	当期支出合計 (I)=(B)+(E)+(G)	11,565,578	0	0	0	0	848,732	3,703,433	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	223,505	1,690,669	1,914,174	0	1,320,000	6,929,700	4,754,738	△ 118,860
	当期収支差額 (J)=(H)-(I)	1,689,415	0	0	0	0	312,268	△ 3,703,433	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116,495	185,712	302,207	0	△ 1,792,199	3,481,614	0	
	前期繰越収支差額 (K)	18,482,866	△ 106,190	0	0	△ 106,190	2,034,811	△ 9,481,968	16,390	0	△ 699,578	△ 8,130,345	△ 1,317,395	△ 1,767,127	△ 3,084,522	1,226,141	313,455	1,539,596	11,682,306	1,900,845	16,582,021	0	0	0	0	0	0	0		
	次期繰越収支差額 (L)=(J)+(K)	20,172,281	△ 106,190	0	0	△ 106,190	2,347,079	△ 13,185,401	16,390	0	△ 699,474	△ 11,521,406	△ 1,341,040	△ 1,766,827	△ 3,107,867	1,342,636	499,167	1,841,803	11,682,306	108,646	20,063,635	0	0	0	0	0	0	0		

財産目録

2025年 3月31日現在

公益社団法人 土木学会（統合領域）

中国

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	87,761	
	預金	普通預金	19,232,030	
		郵便振替	994,152	
	仮払金		2,514	
流動資産合計			20,316,457	
(固定資産)	特定資産	退職給付引当預金	広島銀行県庁支店 2,597,818	
		什器備品減価償却引当預金	広島銀行県庁支店 417,909	
		記念事業積立預金	広島銀行県庁支店 5,201,593	
		全国大会積立預金	広島銀行県庁支店 6,746,936	
		地域貢献資金	広島銀行県庁支店 4,158,913	
		地域貢献資金	広島銀行県庁支店 3,398,065	
		地域貢献資金	広島銀行県庁支店 15,000,000	
	その他固定資産	什器備品		699,032
		敷金		510,000
		什器備品減価償却累計額		△ 417,910
固定資産合計			38,312,356	
資産合計			58,628,813	
(流動負債)	未払金		36,632	
	預り金		103,544	
	源泉所得税		70,068	
	雇用保険料		33,476	
	前受金		4,000	
	研究発表会		4,000	
	賞与引当金		262,250	
	管理費		262,250	
流動負債合計			406,426	
(固定負債)	退職給付引当金		2,597,818	
	事業管理費		450,000	
	管理費		2,147,818	
固定負債合計			2,597,818	
負債合計			3,004,244	
正味財産			55,624,569	

令和7年4月17日

公益社団法人土木学会中国支部

支部長 西山 哲 殿

公益社団法人 土木学会中国支部

監査役 丸山 昭義

監査役 小田 秀樹

監査報告書

令和6年度事業報告および財務諸表等の決算関係書類を監査しましたところ、適正に執行されていたことを認めます。

③ 令和6年度(2024)支部規程類の制定・改訂報告

土木学会中国支部職員就業規則 改訂

令和元年12月25日	制定
令和3年2月4日	改訂
令和5年12月1日	改訂
令和7年5月1日	改訂

【改訂案】 職員の始業時間を30分繰り下げ、混雑を避け勤務を開始する。

(北海道支部参照)

現行	改正案
第1章 ～第2章 (割愛) 第3章 勤務 第1節 勤務時間および休憩時間 (勤務日および勤務時間・休憩時間) 第20条 職員の勤務日は、原則として月曜日から金曜日までとする。ただし、支部事務職員の勤務日数を1週間のうち5日に満たない日数とすることができる。 2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない場合は勤務日を変更することができる。 3 勤務時間および休憩時間は、次の各号のとおりとする。 (1) 始業 9時00分 (2) 終業 17時30分 (3) 休憩 12時00分から13時00分 (時間差出勤の場合は別途定める) 第4章～第9章 (割愛)	第1章 ～第2章 (割愛) 第3章 勤務 第1節 勤務時間および休憩時間 (勤務日および勤務時間・休憩時間) 第20条 職員の勤務日は、原則として月曜日から金曜日までとする。ただし、支部事務職員の勤務日数を1週間のうち5日に満たない日数とすることができる。 2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない場合は勤務日を変更することができる。 3 勤務時間および休憩時間は、次の各号のとおりとする。 (1) <u>始業 9時30分</u> (2) <u>終業 18時00分</u> (3) 休憩 12時00分から13時00分 (時間差出勤の場合は別途定める) 第4章～第9章 (割愛)

付則

- この規則は、令和元年12月25日から実施する。(令和元年12月24日 商議員会議決)
- 平成25年4月5日付けで制定した、土木学会中国支部就業規則を、令和元年12月24日付けで廃止する。
- この規則にない事態が起きたときあるいは学会における業務の大幅な変更や社会情勢により見直しが必要となったとき、あるいは労働基準法および国家公務員法に変更があったときは、労働基準法および国家公務員法に準拠して速やかに改訂する。
- この規則は、令和3年2月4日から実施する。(令和3年2月4日 商議員会議決)
- この規則は、令和5年12月1日から実施する。(令和5年12月1日 商議員会議決)
- この規則は、令和7年5月1日から実施する。(令和7年4月30日 商議員会議決)

土木学会中国支部職員給与細則 改訂

平成 20 年 4 月 25 日制定
 平成 21 年 10 月 30 日一部改正
 平成 22 年 7 月 30 日一部改正
 平成 24 年 9 月 28 日一部改正
 平成 25 年 10 月 4 日一部改正
 平成 27 年 4 月 17 日一部改正
 令和 6 年 11 月 29 日一部改訂
 令和 7 年 2 月 19 日一部改訂

【改訂理由】平成 20 年に職員給与細則を制定して以降、通勤手当の上限を変更していなかった。公共交通機関の値上げもあり現状に合わせるため、一日の支給限度を 1000 円から 1500 円に変更する。

【改訂理由】職員の賞与は、期末手当のみで、勤勉手当が支払われていないことが分かった。土木学会の規定は国家公務員の規定に準じて作成されているので、この度、本部規程と同様とした。

現行	改正案
第 1 条～第 10 条（割愛） 第 11 条 通勤手当 通勤手当は、通勤のため公共交通機関を利用し、その運賃を負担することを常例とする職員に対して支給する。 勤務日数が週 5 日の場合、通勤手当は原則、通勤に利用する公共交通機関（原則として順路による最低額のもの）の最長の通用期間の定期代を一括払いとする。 勤務日数が週 5 日に満たない場合またはそれに抛りがたい場合には、運賃に通勤日数を乗じて算定し、月額払いとする。 なお、一日当たり 1,000 円を支給限度額とする。 2 徒歩については、支給しない。 3 自動車等の通勤については、別表に掲げる額に通勤日数を乗じて算定し、月額払いとする。 第 12 条 賞与 賞与は、原則として毎年 2 回夏季及び年末において、6 月 1 日、12 月 1 日（以下これらの日を「基準日」という。）に在職する支部職員に対して支給する。支給額については、基準日以前の 6 箇月以内の試用期間を含む勤務期間を踏まえ本給の 1.25 ヶ月分を上限で支給する。 2 賞与支給日（その日が休日にあたる時は、そ	第 1 条～第 10 条（割愛） 第 11 条 通勤手当 通勤手当は、通勤のため公共交通機関を利用し、その運賃を負担することを常例とする職員に対して支給する。 勤務日数が週 5 日の場合、通勤手当は原則、通勤に利用する公共交通機関（原則として順路による最低額のもの）の最長の通用期間の定期代を一括払いとする。 勤務日数が週 5 日に満たない場合またはそれに抛りがたい場合には、運賃に通勤日数を乗じて算定し、月額払いとする。 なお、一日当たり 1,500 円 を支給限度額とする。 2 徒歩については、支給しない。 3 自動車等の通勤については、別表に掲げる額に通勤日数を乗じて算定し、月額払いとする。 第 12 条 賞与 賞与は、 国家公務員の「期末手当」、「勤勉手当」に準じ支給する。 2 勤勉手当の支給については、別紙に定める勤務評価要領細則に基づく人事考課による。 3 6 月 1 日および 12 月 1 日（以下「基準日」という。）に在職する職員に対して支給する。また、これらの基準日前 1 箇月以内に退職または死

の日前においてその日に最も近い休日でない日)については、次の各号による。

支給日 6月30日 (基準日 6月1日)

支給日 12月10日 (基準日 12月1日)

3 支給割合は、次のとおりとする。

勤務実績	割合 (勤務日数が1週間のうち5日の場合)	割合 (勤務日数が1週間のうち5日未満の場合)
6ヶ月	100分の125	100分の100
5ヶ月以上6ヶ月未満	100分の100	100分の80
3ヶ月以上5ヶ月未満	100分の75	100分の60
3ヶ月未満	100分の37.5	100分の30

国家公務員の期末手当を参考とする。

第13条 (割愛)

亡した職員についても同様とする。

4 支給割合は、次のとおりとする。

実績	割合 (勤務日数が1週間のうち5日の場合)	割合 (勤務日数が1週間のうち5日未満の場合)
6ヶ月	100分の125	100分の100
5ヶ月以上6ヶ月未満	100分の100	100分の80
3ヶ月以上5ヶ月未満	100分の75	100分の60
3ヶ月未満	100分の37.5	100分の30

第13条 (割愛)

付則

- 1 この内規は、平成20年4月25日から実施する。
- 2 この内規の改正は、支部幹事会の議決による。
- 3 (平成21年10月22日 支部幹事会議決)、この変更内規は、平成21年10月30日から施行する。
- 4 (平成22年7月30日 支部幹事会議決)、この変更内規は、平成22年8月1日から施行する。
- 5 (平成24年9月28日 支部幹事会議決)、この変更内規は、平成24年9月28日から施行する。
- 6 (平成25年10月4日 支部幹事会議決)、この変更内規は、平成25年11月1日から施行する。
- 7 (令和6年11月29日支部幹事会議決)、この変更内規は、令和6年11月29日から施行する。
- 8 (令和7年2月19日支部幹事会議決)、この変更内規は、令和7年2月19日から施行する。

土木学会中国支部職員 勤務評価要領細則 制定

(目的)

第1条 この要領は、「土木学会中国支部職員給与細則」第17条に定める評価を適正に行うことを目的として、支部職員の評価に関して必要な事項を定める。

(評価実施日)

第2条 評価の実施日は、4月1日と10月1日とする。

(被評価者)

第3条 本要領で対象とする被評価者は、6月1日および12月1日に在職する支部職員とする。

(評価期間)

第4条 評価の対象期間は、それぞれ次の通りとする。

- (1) 4月1日評価；前年の10月1日から3月31日まで
- (2) 10月1日評価；4月1日から9月30日まで

(評価手順等)

第5条 評価の手順は、1次評価及び2次評価とし、評価者は別表1に掲げる通りとする。

- 2 1次評価とは、被評価者が行う自己評価のことである。
- 3 2次評価とは、2次評価者が1次評価の結果を吟味して、最終評価を決定することである。

(勤務実績評価調書)

第6条 被評価者は、別表2に定める評価の基準等に基づいて評価を行い、評価結果を「勤務実績評価調書」(様式1-1)により2次評価者に提出するものとする。

- 2 2次評価者は、評価に際し、被評価者が作成した「自己評価」を参考とする。
- 3 2次評価の結果が「A」及び「B」の場合は「土木学会中国支部職員給与細則」第17条に定める通り、国家公務員の「期末手当」、「勤勉手当」に準じ賞与を支給する。
- 4 2次評価の結果が「C」の場合は、2次評価者と2次評価者が協議の上、「期末手当」、「勤勉手当」を支給する。

(雑則)

第7条 この要領に定めるもののほか、評価の実施に必要な事項については、支部長が定める。

付則

(令和7年2月19日支部幹事会議決)、この細則は、令和7年2月19日から施行する。

別表 1 : 被評価者と評価者

被評価者	1次評価者	2次評価者
支部職員	被評価者は自己評価を行う	支部長

別表 2 : 評価の基準等

【1次評価】
<p>(1) 1次評価者は、被評価者に関する期毎の「総合評価」（Ⅰ勤務態度＋Ⅱ業務遂行力）について、下記の3段階評価を行うとともに、評価概要を2次評価者に伝える。</p> <p>「③」：優れている 「②」：標準である 「①」：標準より下である</p>
【2次評価】
<p>(1) 2次評価者は、1次評価者の評価結果について吟味・査定し、最終評価するものとする。最終評価における3段階評価は、A、B、及びCとし、その意味合いは、1次評価における5段階評価、3、2及び1と対応させるものとする。</p> <p>「A」：極めて良好である 「B」：良好である 「C」：良好でない</p>

提出日: 年 月 日

氏名		自己評価			最終 評価値
評価項目	着眼点	①②③ で記入	コメント		
I 勤務 態度	勤勉・誠実性	・担当職務に対し、上司の指示に従い、一生懸命取り組んだか。 ・学会の諸規則を遵守し、規律面で問題はなかったか。			
	責任性	・担当職務に対し、責任をもって成し遂げたか。その経過や結果について、必ず、上司や関係部署等に報告・連絡・相談を行ったか。 ・問題が発生した場合の対応は適切であったか。			
	連携・協力性	・上司、同僚および関係者と連携し、互いに協力して職務を行ったか。 ・内外の人間とコミュニケーションをよく行ったか。			
II 業務 遂行 力	理解判断力	・担当職務の遂行にあたり、上司や関係者の方針をよく理解し、的確な対応を行ったか。			
	知識・技術・技能	・担当職務に関する業務上必要な知識・技術・技能を持っているか。			
	業務の工夫・改善	・担当職務の遂行にあたり、必要な工夫、改善に取り組んだか。			

謝金等の取扱いに関する内規 改訂

(適用範囲)

第1条 土木学会中国支部（以下「支部」という。）が主催する講習会（講演会・工事報告会等を含む。）の謝金等の取扱いについては、原則として、この内規による。

(目的)

第2条 この内規は、支部における謝金等の取扱いについて基準を定め、支部業務の円滑な運営に資するとともに、経費の適正な支出を図ることを目的とする。

(支給対象者)

第3条 謝金等を支給する対象者は、学生、自営業（フリーを含む。）の者及び所属する団体の勤務時間外（自ら休暇を取得した場合を含む。）である者とし、支部役員が支部役員として講習会の講師・パネリスト・司会・助手・通訳を行う場合は、土木学会中国支部規程第6条に基づき、謝金等を支給しない。

(謝金の額)

第4条 講師等に支給する謝金は、次のとおりとする。

区 分	時 間	金 額
講習会、講演会及び工事報告会等の講師	10分ごとに	3,000円
パネリスト	10分ごとに	2,000円
同 司会	1時間ごとに	1,000円
同 アルバイト	1時間ごとに	現状 970 円 変更後 1,020 円
講演会の通訳（外国人の場合）	半日	10,000円

注)・謝金は税込み単価である。

- ・上記に当てはまらない場合は、幹事会で協議の上決定する。
- ・支部研究発表会の司会者はこれにあたらない。

(執筆料)

第5条 支部が主催する講習会等におけるテキスト用原稿の執筆料は、講師等に対する謝金に含まれることとし、支給しない。

(挨拶)

第6条 挨拶は、謝金を支給しない。

附則 この内規は、平成16年7月30日から施行する。

(平成24年9月28日 支部幹事会議決)、この変更内規は、平成24年9月28日から施行する。)

(平成27年7月31日 支部幹事会議決)、この変更内規は、平成27年7月31日から施行する。)

(平成29年10月16日支部幹事会議決)、この変更内規は、平成29年10月16日から施行する。)

(令和2年3月25日支部幹事会議決)、この変更内規は、令和2年3月25日から施行する。)

(令和4年12月9日支部幹事会議決)、この変更内規は、令和4年12月9日から施行する。)

(令和5年11月6日支部幹事会議決)、この変更内規は、令和5年11月6日から施行する。)

(令和6年11月29日支部幹事会議決)、この変更内規は、令和6年11月29日から施行する。)

中国支部選奨土木遺産委員会内規 改訂

平成14年 5月 1日 制 定
 平成27年 4月17日 一部改訂
 令和 6年11月29日 ”

【改正理由】令和2年度に本部の選奨土木委員会規程が改正され、それに伴い支部の土木遺産委員会内規も変更する。委員の種別は、本部同様会員に特定しない。

改訂前	改定後
<p>(総則)</p> <p>第一条 土木学会選奨土木遺産選考委員会（以下「本部選考委員会」という。）の選考に際し、中国支部推薦の授賞候補を選考するため、中国支部内に中国支部選奨土木遺産選考委員会（以下、「選考委員会」という。）を設置する。</p> <p>(選考委員会の構成)</p> <p>第二条 選考委員会は、地域分野に配慮し、委員6名以内で構成する。</p> <p>(委員)</p> <p>第三条 委員は支部所属の正会員の中から選出し支部長が委嘱する。委員は、中立公平な立場で選考に当たるものとし、原則として学識経験者に委嘱する。</p> <p>委員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>(委員長)</p> <p>第四条 選考委員会に委員長をおく。委員長は委員の互選により決定する。</p> <p>(候補の選考)</p> <p>第五条 選考にあたっては、本部選考委員会の議事内容、および「本</p>	<p>(総則)</p> <p>第一条 土木学会選奨土木遺産選考委員会（以下「本部選考委員会」という。）の選考に際し、中国支部推薦の授賞候補を選考するため、中国支部内に中国支部選奨土木遺産選考委員会（以下、「選考委員会」という。）を設置する。</p> <p>(選考委員会の構成)</p> <p>第二条 選考委員会は、地域分野に配慮し、委員6名以内で構成する。</p> <p>(委員)</p> <p>第三条 委員は支部所属の正会員の中から選出し支部長が委嘱する。委員は、中立公平な立場で選考に当たるものとし、原則として学識経験者に委嘱する。</p> <p>委員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>(委員長)</p> <p>第四条 選考委員会に委員長をおく。委員長は委員の互選により決定する。</p> <p>(候補の選考)</p> <p>第五条 選考にあたっては、本部選考委員会の議事内容、および「本</p>

<p>部選考委員会の構成及び運営に関する内規」を参考とする。</p> <p>(実施期日)</p> <p>この規約は、平成14年5月1日より実施する。</p> <p>平成27年4月17日一部改訂</p>	<p>部選考委員会の構成及び運営に関する内規土木学会選奨土木遺産委員会規則」を参考とする。</p> <p>(実施期日)</p> <p>この規約は、平成14年5月1日より実施する。</p> <p>平成27年4月17日一部改訂 令和6年11月29日一部改訂</p>
--	---

付則

(令和6年11月29日支部幹事会議決)、この変更内規は、令和6年11月29日から施行する。

4. 令和7年度（2025）中国支部役員

1. 令和7年度支部長、副支部長、商議員

（敬称略）

役職名	氏名	所属及び職名
支部長	赤松 邦康	西日本高速道路(株)中国支社支社長
副支部長	中田 幸男	山口大学大学院創成科学研究科教授
副支部長	半井 健一郎	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授
商議員	小野 祐輔	鳥取大学工学部教授
商議員	永禮 英明	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
商議員	畠 俊郎	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授
商議員	朝位 孝二	山口大学大学院創成科学研究科教授
商議員 本部役員選考委員	伊藤 雅	広島工業大学工学部環境土木工学科教授
商議員	堀口 至	呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授
商議員	海田 辰将	徳山工業高等専門学校土木建築工学科教授
商議員	浅田 純作	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授
商議員 本部役員選考委員	吉岡 大藏	国土交通省中国地方整備局企画部長
商議員	馬場 智	国土交通省中国地方整備局港湾空港部長
商議員	藤田 士郎	広島県土木建築局局長
商議員 本部役員選考委員	尾松 智	岡山県土木部土木部長
商議員	仙石 克洋	山口県土木建築部長
商議員	吉野 睦	鳥取県県土整備部長
商議員	今岡 幸延	島根県土木部長
商議員	石飛 和博	広島市道路交通局長
商議員	今井 洋孫	岡山市都市整備局長
商議員	水島 賢明	中国電力(株)執行役員 電源事業本部部長(再生可能エネルギー)
商議員 本部役員選考委員	佐藤 高通	本州四国連絡高速道路(株)しまなみ尾道管理センター所長
商議員	友道 康仁	広島高速道路公社理事長
商議員	守田 武史	西日本旅客鉄道(株)中国統括本部施設部施設部長
商議員	田中 智昭	清水建設(株)広島支店副支店長
商議員	川上 直也	(株)大林組広島支店工事部長
商議員	佐々木 邦之	鹿島建設(株)中国支店専任役
商議員	周藤 浩司	中電技術コンサルタント(株)常務取締役
商議員	金 声漢	(株)エイト日本技術開発代表取締役社長
商議員	秋山 隆之	西日本高速道路エンジニアリング 中国取締役(株)土木事業本部長
商議員・理事	麻生 稔彦	山口大学大学院創成科学研究科教授
商議員・理事	北村 弘和	西日本高速道路エンジニアリング 中国(株)代表取締役社長

2. 令和7年度監査役

(敬称略)

監査役	丸山 昭義	大成建設(株)中国支店安全・環境部専任部長
監査役	小田 秀樹	復建調査設計(株)代表取締役会長

3. 令和7年度幹事長、幹事

(敬称略)

役職名	氏名	所属及び職名
幹事長	阪本 良夫	西日本高速道路(株)中国支社 総務企画部企画調整課課長
幹事	和田 孝志	鳥取大学工学部准教授
幹事※	氏原 岳人	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授
幹事	布施 正暁	広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授
幹事	森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科准教授
幹事	大東 延幸	広島工業大学工学部環境土木工学科准教授
幹事	木村 善一郎	呉工業高等専門学校環境都市工学分野准教授
幹事	温品 達也	徳山工業高等専門学校土木建築工学科准教授
幹事	広瀬 望	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授
幹事	井川 広之	国土交通省中国地方整備局技術企画官
幹事	上野 太地	国土交通省中国地方整備局港湾空港部海洋環境・技術課長
幹事	小林 周平	広島県土木建築局道路企画課参事
幹事	高野 訓孝	広島市道路交通局道路交通企画課課長
幹事	加藤 拓一郎	中国電力(株)電源事業本部マネージャー (再生可能エネルギー・土木総括)
幹事	門田 整達	本州四国連絡高速道路(株)しまなみ尾道管理センター計画課長
幹事	竹岡 佳宏	広島高速道路公社技術管理課長
幹事	鈴木 秀門	西日本旅客鉄道(株)中国統括本部施設部課長
幹事	高橋 啓介	清水建設(株)広島支店営業部長
幹事	野中 雄一郎	(株)大林組広島支店営業部長
幹事	天野 景一郎	鹿島建設(株)中国支店支店次長
幹事	福永 佳裕	大成建設(株)中国支店土木室長
幹事	錦織 真樹	中電技術コンサルタント(株)総務企画本部 企画部長
幹事	檜崎 拓也	(株)エイト日本技術開発広島支店長
幹事	山本 浩一	復建調査設計(株)企画開発本部副本部長
幹事	金谷 寛之	(株)荒谷建設コンサルタント部長
幹事	宮内 智昭	西日本高速道路エンジニアリング 中国取締役(株)経営企画本部企画部長
事務幹事	森 圭右	西日本高速道路(株)中国支社総務企画部 企画調整課課長代理

4. 令和7年度土木学会中国支部賞表彰委員会

(敬称略)

役職名	氏名	所属及び職名
委員長	赤松 邦康	西日本高速道路(株)中国支社支社長
幹事長	阪本 良夫	西日本高速道路(株)中国支社 総務企画部企画調整課課長
委員◎	小野 祐輔	鳥取大学工学部教授
委員◎	永禮 英明	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
委員◎	畠 俊郎	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授
委員◎	朝位 孝二	山口大学大学院創成科学研究科教授
委員◎	伊藤 雅	広島工業大学工学部環境土木工学科教授
委員◎	堀口 至	呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授
委員◎	海田 辰将	徳山工業高等専門学校土木建築工学科教授
委員◎	浅田 純作	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授
委員◎	吉岡 大藏	国土交通省中国地方整備局企画部長
委員○	和田 孝志	鳥取大学工学部准教授
委員○	氏原 岳人	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授
委員○	布施 正暁	広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授
委員○	森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科准教授
委員○	大東 延幸	広島工業大学工学部環境土木工学科准教授
委員○	木村 善一郎	呉工業高等専門学校環境都市工学分野准教授
委員○	温品 達也	徳山工業高等専門学校土木建築工学科准教授
委員○	広瀬 望	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授
委員○	井川 広之	国土交通省中国地方整備局技術企画官
委員○	上野 太地	国土交通省中国地方整備局港湾空港部海洋環境・技術課長
委員○	小林 周平	広島県土木建築局道路企画課参事
委員○	高野 訓孝	広島市道路交通局道路交通企画課課長
委員○	加藤 拓一郎	中国電力(株)電源事業本部マネージャー (再生可能エネルギー・土木総括)
委員○	門田 整達	本州四国連絡高速道路(株)しまなみ尾道管理センター計画課長
委員○	竹岡 佳宏	広島高速道路公社技術管理課長
委員○	鈴木 秀門	西日本旅客鉄道(株)中国統括本部施設部課長
委員○	高橋 啓介	清水建設(株)広島支店営業部長
委員○	野中 雄一郎	(株)大林組広島支店営業部長
委員○	天野 景一郎	鹿島建設(株)中国支店支店次長
委員○	福永 佳裕	大成建設(株)中国支店土木室長
委員○	錦織 真樹	中電技術コンサルタント(株)総務企画本部 企画部長
委員○	檜崎 拓也	(株)エイト日本技術開発広島支店長
委員○	山本 浩一	復建調査設計(株)企画開発本部副本部長
委員○	金谷 寛之	(株)荒谷建設コンサルタント部長
委員○	宮内 智昭	西日本高速道路エンジニアリング 中国取締役(株)経営企画本部企画部長
事務幹事	森 圭右	西日本高速道路(株)中国支社総務企画部 企画調整課課長代理

※ 委員長：支部長・幹事長：支部幹事長・委員◎：支部商議員・委員○：支部幹事

5. 令和7年度土木学会中国支部選奨土木遺産選考委員会

(敬称略)

エリア	氏名	所属及び職名
岡山県ブロック代表者	樋口 輝久	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授
鳥取県ブロック代表者	和田 孝志	鳥取大学工学部准教授
広島県ブロック代表者	布施 正暁	広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授
山口県ブロック代表者	森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科准教授
島根県ブロック代表者	広瀬 望	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授
行政側代表者	井川 広之	国土交通省中国地方整備局技術企画官

1) 選考委員会に委員長をおき、委員長は委員の互選により決定する。

※ お名前は今年度の方を記載しております。

6. 令和7年度土木学会中国支部緊急災害調査対応委員会

(敬称略)

役職名	氏名	所属及び職名	
1 委員長	中田 幸男	山口大学大学院創成科学研究科教授	副支部長
2 副委員長	森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科准教授	
3 委員	和田 孝志	鳥取大学工学部准教授	
4 委員	氏原 岳人	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授	
5 委員	布施 正暁	広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授	
6 委員	浅田 純作	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授	
7 委員	井川 広之	国土交通省中国地方整備局技術企画官	
8 委員	阪本 良夫	西日本高速道路(株)中国支社 総務企画部 企画調整課課長	
9 委員	鈴木 秀門	西日本旅客鉄道(株)中国統括本部施設部課長	
10 委員	高橋 啓介	清水建設(株)広島支店営業部長	
11 委員	錦織 真樹	中電技術コンサルタント(株)総務企画本部企画部長	

1) 土木学会中国支部災害緊急対応規則により、委員長は、支部長及び副支部長の中から支部長が指名し委嘱する。

2) 委員会の構成について、大学・高専は各県に1校、県をまたぐ組織として、国交省、西日本高速道路、中国電力、西日本旅客鉄道、建設関係の会社を選び、構成する。

7. 令和7年度中国支部推薦本部委員

役職名	氏名	所属及び職名
表彰委員	朝位 孝二	山口大学大学院創成科学研究科教授
論文賞選考委員	金田一 智規	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授
環境賞選考委員	永禮 英明	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
全国大会委員	野口 竜也	鳥取大学工学部准教授
会誌編集委員	三谷 卓摩	松江工業高等専門学校環境・建設工学科准教授

公益社団法人土木学会中国支部

〒730-0017

広島市中区鉄砲町 1-18 佐々木ビル 8F

事務局長 増村 浩子

電話 (082) 222-2376

FAX (082) 222-2496

E-mail: jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

<http://committees.jsce.or.jp/chugoku/>

公益社団法人土木学会

〒160-0004

東京都新宿区四谷 1 丁目 外堀公園内

電話 (03) 3355-3441 (代表)

FAX (03) 5379-2769

<https://www.jsce.or.jp/>

⑤ 令和7年度(2025)事業計画

1. 令和7年度支部総会 (2025. 5. 21)
 - ①令和6年度事業報告および決算報告
 - ②令和7年度本部役員および支部役員
 - ③令和7年度事業計画および収支予算
 - ④支部規程等の一部改正 他
 - ⑤令和6年度土木学会中国支部賞表彰式
2. 商議員会 (2回を予定)
 - ①支部の事業計画及び予算
 - ②支部長候補者の選出及び推薦
 - ③副支部長、商議員及び監査役の選任又は解任
 - ④支部の規程等の制定及び改正
 - ⑤その他、支部運営に関する基本的事項
3. 幹事会 (5回以内を予定)
4. 役員選出委員会 (1回を予定)
5. 選奨土木遺産選考委員会 (適宜)
6. 4学会災害協定連絡協議会(適宜)
7. 支部賞表彰委員会(適宜)
8. 支部行事
 - A) 支部研究発表会 (2025. 6. 14) 開催：徳山工業高等専門学校
 - ①研究発表会 ②企業展示
 - B) 講演会・報告会・シンポジウム・講習会・その他
 - ①特別講演会 (2025. 5. 21)

演題：気候変動に適応したレジリエントな社会を目指して
講演：(一財)河川情報センター理事長・東京大学名誉教授・
土木学会次期会長 池内 幸司 氏
 - ②令和6年度土木学会中国支部賞受賞講演会 (2025. 5. 21)
 - ③令和7年度工事報告会 (土木学会担当：山口県地域)
 - ④組織のトップと話してみよう！
 - C) インフラメンテナンス市区町村会議 担当：益田市
9. 土木の日関連行事
 - ①第18回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール
(予定：作品募集：7月～9月、各地での作品展示：11月～、表彰式：11月～)
 - ②土木学会夏休み親子見学会

- ③夏休み子ども土木実験教室
- ④選奨土木遺産認定授与式
- ⑤どぼくカフェ・土木ツアー

10. 研究奨励

- ①調査研究委員会 3件
- ②調査研究活動助成 (A) 4件程度 (上半期2件・下半期2件)
- ③調査研究活動助成 (B) 2件程度

11. 表彰

- ①令和7年度土木学会中国支部賞
- ②中国支部研究発表会若手優秀発表者賞：35名程度
- ③優秀学生表彰：35名程度
- ④第18回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール：65名程度

12. 広報活動

- ①ホームページの更新
- ②facebook:シビルネット中国の更新
- ③ニュースレターの発行

13. 技術相談 随時受付

(賛助会員・インフラメンテナンスちゅうごく市区町村委員のみ)

⑥ 令和7年度(2025) 予算

2025年度 収支予算書 集計表 (中国支部)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

単位:円、太字は実績、斜字は予算、%は実績/予算

区分	収支科目	合計	公益目的事業																	公益目的事業 共通	公益目的事業 合計	法人会計	内部取引消去				
			公1:調査研究事業				公2:講演会等事業				公3:表彰・助成事業				公5:広報・啓蒙事業												
			調査研究事業	公益受託事業	社会支援事業	小計	学術講演会等事業	講習会等行事事業	教育支援等事業	全国大会事業	周年記念事業	小計	表彰事業	研究等助成事業	小計	広報啓蒙事業	土曜の日事業	小計									
事業活動収支の部	1. 特定資産運用収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 会費収入	1,320,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,320,000	1,320,000	0	0	0	0	0	1,320,000	0
	3. 事業収入	1,150,000	0	0	0	0	1,000,000	150,000	0	0	0	1,150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,150,000	0
	4. 補助金・負担金・寄付金	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	150,000	0	0	0	0	0	0	0	150,000	0
	5. 雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 繰入金収入	9,745,000	1,496,000	0	1,100,000	2,596,000	440,000	2,919,000	0	0	0	3,359,000	486,000	0	486,000	565,000	1,350,000	1,915,000	0	0	0	0	0	0	0	8,356,000	8,055,000
	事業活動収入計(A)	12,365,000	1,496,000	0	1,100,000	2,596,000	1,440,000	3,069,000	0	0	0	4,509,000	486,000	0	486,000	565,000	1,500,000	2,065,000	1,320,000	10,976,000	8,055,000	0	0	0	0	10,976,000	△ 6,666,000
	1. 事業費	10,910,000	900,000	0	1,100,000	2,000,000	1,380,000	4,341,000	0	0	0	5,721,000	280,000	600,000	880,000	340,000	1,969,000	2,309,000	0	10,910,000	0	0	0	0	0	10,910,000	0
	うち事業管理費	4,660,000	0	0	0	0	0	4,191,000	0	0	0	4,191,000	0	0	0	0	469,000	469,000	0	4,660,000	0	0	0	0	0	4,660,000	0
	2. 管理費	4,645,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,645,000
3. 繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,740,000	2,740,000	0	0	0	1,320,000	4,060,000	3,335,000	0	0	0	0	3,335,000	△ 7,395,000	
事業活動支出計(B)	15,555,000	900,000	0	1,100,000	2,000,000	1,380,000	4,341,000	0	0	0	5,721,000	280,000	280,000	3,340,000	3,620,000	340,000	1,969,000	2,309,000	13,200,000	14,970,000	7,980,000	0	0	0	7,980,000	△ 7,395,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 3,190,000	596,000	0	0	596,000	60,000	△ 1,272,000	0	0	0	△ 1,212,000	206,000	△ 3,340,000	△ 3,134,000	225,000	△ 469,000	△ 244,000	0	△ 3,994,000	75,000	0	0	0	0	75,000		
投資活動収支の部	1. 固定資産売却・敷金戻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	引当預金取崩 (退職給付・減価償却)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 特定預金取崩 (記念事業、全国大会、支部運営、地域貢献)	3,340,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,340,000	3,340,000	0	0	0	0	3,340,000	0	0	0	0	0	3,340,000	0
	投資活動収入計(D)	3,340,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,340,000	3,340,000	0	0	0	0	3,340,000	0	0	0	0	0	3,340,000	0
	1. 固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	引当預金支出 (退職給付・減価償却)	150,000	0	0	0	0	0	67,500	0	0	0	67,500	0	0	0	0	7,500	7,500	0	150,000	75,000	75,000	0	0	0	75,000	75,000
	2. 特定預金支出 (記念事業、全国大会、支部運営、地域貢献)	140,000	0	0	0	0	0	49,000	0	0	0	63,000	0	0	0	0	7,000	7,000	0	140,000	70,000	70,000	0	0	0	70,000	70,000
	投資活動支出計(E)	150,000	0	0	0	0	0	67,500	0	0	0	67,500	0	0	0	0	7,500	7,500	0	150,000	75,000	75,000	0	0	0	75,000	75,000
	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	3,190,000	0	0	0	0	0	△ 67,500	0	0	0	△ 67,500	0	3,340,000	3,340,000	0	0	△ 7,500	0	3,265,000	△ 75,000	0	0	0	0	△ 75,000	
	当期収支合計及び次期繰越収支差額	当期収入合計(H)=(A)+(D)	15,705,000	1,496,000	0	1,100,000	2,596,000	1,440,000	3,069,000	0	0	0	4,509,000	486,000	3,340,000	3,826,000	565,000	1,500,000	2,065,000	13,200,000	14,316,000	8,055,000	0	0	0	0	14,316,000
当期支出合計(I)=(B)+(E)		15,705,000	900,000	0	1,100,000	2,000,000	1,380,000	4,408,500	0	0	0	5,788,500	280,000	3,340,000	3,620,000	340,000	1,969,000	2,316,500	13,200,000	15,045,000	8,055,000	0	0	0	0	15,045,000	△ 7,395,000
当期収支差額(J)=(H)-(I)		0	596,000	0	0	596,000	60,000	△ 1,339,500	0	0	0	△ 1,279,500	206,000	0	206,000	225,000	△ 469,000	△ 251,500	0	△ 729,000	0	0	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額(K)		18,482,866	△ 106,190	0	0	△ 106,190	2,034,811	△ 9,481,968	16,390	0	△ 699,578	△ 8,130,345	△ 1,317,395	△ 1,767,127	△ 3,084,522	1,226,141	313,455	1,539,596	11,682,306	1,900,845	16,582,021	0	0	0	0	16,582,021	
次期繰越収支差額(L)=(J)+(K)		18,482,866	489,810	0	0	489,810	2,094,811	△ 10,821,468	16,390	0	△ 699,578	△ 9,409,845	△ 1,111,395	△ 1,767,127	△ 2,878,522	1,451,141	△ 155,545	1,288,096	11,682,306	1,171,845	16,582,021	0	0	0	0	16,582,021	

土木学会中国支部会員

(1) 中国支部 会員数

(上段：2025年3月31日現在) (下段：2024年3月31日)

正会員		特別 会員	学生 会員	合 計	名誉 会員	フェロー 会員	賛助 会員
個 人	法 人						
1438	26	38	283	1785	18	50	43 口
1446	25	36	277	1784	18	49	43 口

※名誉会員とフェロー会員は、個人正会員に含む

(2) 法人会員・特別会員 (中国支部)

2025年3月31日現在 64 団体

	級	会員種別名	学校企業名称
1	特級B	法人正会員	(株) 大本組
2	1級A	法人正会員	中国電力(株)
3	1級A	法人正会員	アイサワ工業(株)
4	1級C	法人正会員	広成建設(株)
5	1級C	法人正会員	(株)エイト日本技術開発
6	1級C	法人正会員	中電技術コンサルタント(株)
7	1級C	法人正会員	復建調査設計(株)
8	1級C	法人正会員	極東興和(株)
9	1級C	法人正会員	SG エンジニアリング(株)
10	1級D	法人正会員	(株)トクヤマ
11	1級D	法人正会員	(株)ヒロコン
12	1級D	法人正会員	エム・エムブリッジ(株)
13	1級D	法人正会員	(株)ウエスコ 事業本部
14	1級D	法人正会員	(株)荒谷建設コンサルタント
15	1級D	法人正会員	(株)土木技術コンサルタント
16	1級D	法人正会員	西日本高速道路エンジニアリング中国(株)
17	1級D	法人正会員	豊国工業(株)
18	1級D	法人正会員	サン・ロード(株)
19	1級D	法人正会員	(株)計測リサーチコンサルタント
20	1級D	法人正会員	NEXCO 西日本コンサルタンツ(株)
21	1級D	法人正会員	(株)総合システム
22	1級D	法人正会員	蜂谷工業(株)

	級	会員種別名	学校企業名称
23	1級D	法人正会員	山陽ロード工業(株)
24	1級D	法人正会員	(株)日橋コンサルタント
25	1級D	法人正会員	新川センサテクノロジー(株)
26	1級D	法人正会員	(株)セトウチ
27	1級C	特別会員	清水建設(株)広島支店
28	1級C	特別会員	鹿島建設(株)中国支店
29	1級C	特別会員	大成建設(株)中国支店
30	1級D	特別会員	国土交通省(中国)中国技術事務所
31	1級D	特別会員	国土交通省(中国)広島港湾空港整備事務所
32	1級D	特別会員	国土交通省(中国)松江国道事務所
33	1級D	特別会員	国土交通省中国地方整備局企画部企画課
34	1級D	特別会員	国土交通省(中国)三次河川国道事務所
35	1級D	特別会員	国土交通省(中国)広島国道事務所
36	1級D	特別会員	国土交通省(中国)岡山河川事務所
37	1級D	特別会員	国土交通省中国地方整備局港湾空港部
38	1級D	特別会員	国土交通省(中国)広島港湾空港技術事務所
39	1級D	特別会員	国土交通省(中国)倉吉河川国道事務所
40	1級D	特別会員	国土交通省(中国)鳥取河川国道事務所
41	1級D	特別会員	国土交通省(中国)浜田河川国道事務所
42	1級D	特別会員	国土交通省(中国)福山河川国道事務所
43	1級D	特別会員	国土交通省(中国)出雲河川事務所
44	1級D	特別会員	国土交通省(中国)太田川河川事務所
45	1級D	特別会員	国土交通省(中国)宇野港湾事務所
46	1級D	特別会員	国土交通省(中国)山陰西部国道事務所
47	1級D	特別会員	国土交通省(中国)境港湾・空港整備事務所
48	1級D	特別会員	国土交通省(中国)岡山国道事務所
49	1級D	特別会員	国土交通省(中国)宇部港湾事務所
50	1級D	特別会員	山口市
51	1級D	特別会員	鳥取県
52	1級D	特別会員	島根県
53	1級D	特別会員	広島県
54	1級D	特別会員	(株)奥村組 広島支店
55	1級D	特別会員	本州四国連絡高速道路(株)しまなみ尾道管理センター
56	1級D	特別会員	大成ロテック(株)中国支社
57	1級D	特別会員	東亜建設工業(株)中国支店
58	1級D	特別会員	(一財)広島県環境保健協会
59	1級D	特別会員	広島高速道路公社

	級	会員種別名	学校企業名称
60	1級D	特別会員	(公財)岡山県環境保全事業団
61	1級D	特別会員	西日本高速道路(株)中国支社
62	1級D	特別会員	(株)竹中土木 広島支店
63	1級D	特別会員	(株)大林組 広島支店
64	1級D	特別会員	広島県生コンクリート工業組合

(3) 中国支部 賛助会員

2025年3月31日現在 41団体 43口

名 称	名 称
(株)大建コンサルタント	中電技術コンサルタント(株)※
(株)アトラス	復建調査設計(株)※
(株)竹下技術コンサルタント	(株)荒谷建設コンサルタント※
(株)大屋ハイテック	(株)福山コンサルタント中四国支社
イズテック(株)	八千代エンジニアリング(株)広島支店
(株)古川コンサルタント	大之木建設(株)
(株)コスモ建設コンサルタント	(株)巽設計コンサルタント
(株)ワールド測量設計	宇部興産コンサルタント(株)
山陰開発コンサルタント(株)	(株)陸地コンサルタント
(株)ウエスコ	(株)東京建設コンサルタント
(株)エイト日本技術開発	やまこう建設(株)
(株)なんば技研	大成建設(株)中国支店
(株)大本組	前田建設工業(株)中国支店
アイサワ工業(株)	(株)奥村組広島支店
(株)建設技術研究所中国支社	清水建設(株)広島支店
(株)ダイヤコンサルタント	五洋建設(株)中国支店
(株)オリエントコンサルタンツ中国支店	ルーチェサーチ(株)
パシフィックコンサルタンツ(株)中国支社	日本工営(株)広島支店
(株)R o o p e ' s	鉄建建設(株)広島支店
(株)荒木組	西松建設(株)中国支社
天野産業(株)	

注) ※は賛助会費2口

以上、41団体43口



公益社団法人 土木学会中国支部

〒730-0017

広島市中区鉄砲町 1-18 佐々木ビル 8F

TEL : (082) 222-2376 FAX : (082) 222-2496

E-mail : jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

<http://www.jsce.or.jp/branch/chugoku/>